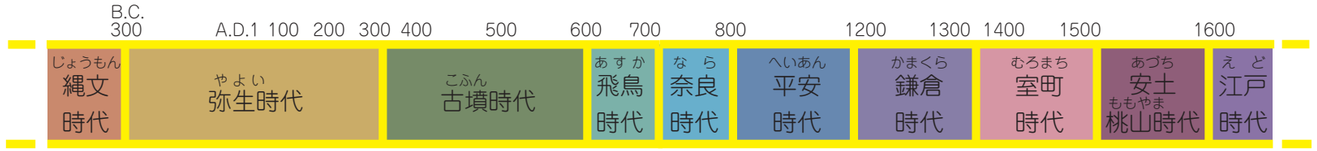
北井門遺跡６次調査　調査概要

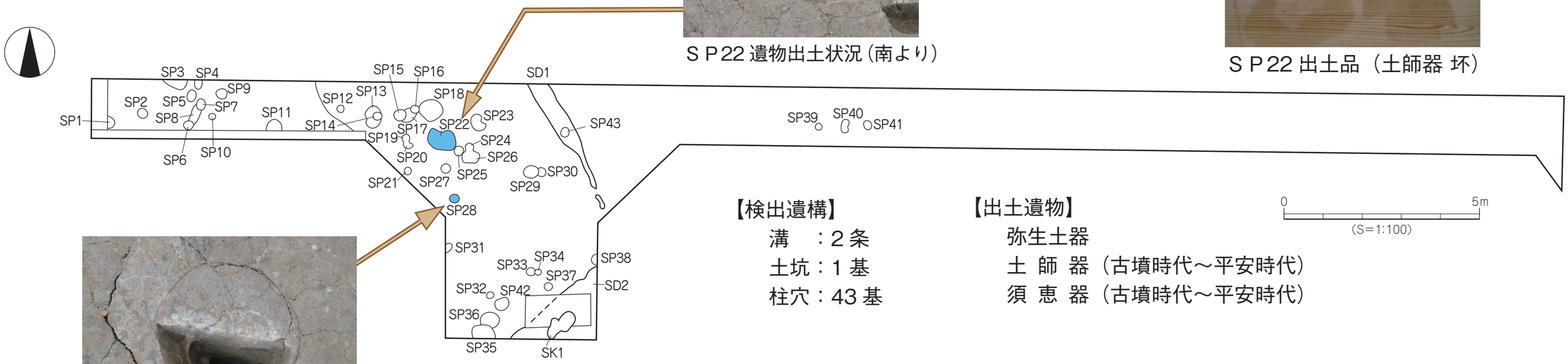
所 在 地：松山市北井門三丁目 405 番 1 の一部
調査面積：約 100 平方メートル
調査期間：平成 26 年 11 月 4 日（火）～同年 11 月 28 日（金）
調査主体：公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
　　埋蔵文化財センター



ＳＰ22 遺物出土状況（南より）

楕円形状の柱穴 SP22 からは
平安時代中期（10 世紀）頃の
土器片が出土

ＳＰ22 出土品（土師器 坏）



【検出遺構】
　溝　：２条
　土坑：１基
　柱穴：43 基

【出土遺物】
　弥生土器
　土 師 器（古墳時代～平安時代）
　須 恵 器（古墳時代～平安時代）

ＳＰ28 検出状況（南より）

楕円形の柱穴 SP28 からは
直径 15cm の柱痕跡を確認

柱穴検出状況（東より）

遺構検出状況（東より）

【わかったこと】

今回の調査では、平安時代の遺跡を発見しました。見つかった遺構は（いこう）は、溝２条、土坑（どこう）１基、柱穴（ちゅうけつ）43 基です。このうち、柱穴の中からは、当時、使用された土師器（はじき）が数多く出土しました。この状況は、土器を使った何らかの祭祀（さいし）が執り行われたことを物語っています。なお、調査では建物址が見つかりませんでしたが、柱痕跡の残る柱穴は確実に建物に伴うものであり、調査地近隣に存在する建物柱穴の一部と考えられます。このように、調査地や周辺地域には、平安時代の遺跡が広く展開しているものと思われます。